

# 道

2020年10月1日  
(第62号)



小田川

兄に咽頭癌が見つかったのは、昨年末のこと。それから入院三回、転院一回、なんとか食事が摂れるようになって自宅に戻れたのは七月半ばだった。治療の甲斐があり今では癌の影は見られない。転移や再発に不安を感じながらも、三〇キロ台にまで落ちた体重は徐々に戻っている。

▼昨年まで、畑作り、自宅周辺の草刈り、地区の付き合いや共同作業などは兄任せだった。それらが、僕の肩に掛かるようになる。病气判明前に兄が植えた白菜の収穫やエンドウのネット張りが手始めだったと思う。近隣の畑よりかなり遅れていた。それから、周囲の方々に教えを請いつつ、種まき、苗の植え付け、肥料作りなど、手を広げた。虫や草と闘ったり和睦したり。竹藪に入って筍掘りもした。恐るおそるといって感じで草刈り機デビューしたのは成り行きであった。兄の偉さが分かってきた。傍から文句ばかり言っていた僕は何だったのだろう。▼自分で手をかけたものには愛着がこもる。野菜などを見る目が変わった。おいしく食べてあげなければという気になる。また、日々を過ごす遠田地区の一員としての自覚が少しは出てきた。▼とは言っても、まだ半人前。今、畑は草ぼうぼう。枯れたキュウリのつるはネットに絡まったまま。自宅西側山斜面を覆う笹などは「今年は伸び伸びできる」と笑っている。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp

H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林 道 也



遠田・桐の木